

## 地域づくり活動 NPO 事業助成（先導的・先駆的）事業 実績報告

団体名	特定非営利活動法人 神戸の冬を支える会	代表者名	理事長 森山 一弘
事業名	刑余者等の社会復帰と生活再建および再犯防止のための支援事業		

### <事業実施実績>

年 月 日	活 動 内 容
2019年4月～ (随時)	関係機関から出所・釈放者（予定者）について支援依頼があった場合： 面談して支援計画を作成・支援を実施 (住居確保、各種福祉施策の利用支援、その後の居宅生活サポートなど)
2019年4月～ (随時)	住居確保後、自宅訪問。 生活状況の確認と、居宅生活後に明らかになった問題の解決について相談を受け、関係機関につなぐ等必要な支援を実施。
2019年 4月25日	明石更生保護支援ネットワーク会議
7月27日	2019年あかし更生支援フェア参加
7月29日	再犯防止に関する関係者会議（姫路）出席
10月23日	触法障害者等の弁護・支援に関する意見交換会（兵庫県弁護士会）出席
2020年1月	支援対象者へ年賀状の送付

### <効果と成果>

刑事施設等から帰るべき住居がないまま釈放され、そのままホームレス化する方が多く存在する中、関係機関と協力し、対象者の住居確保事業を実施した。  
 本事業の実施により2019年度中に行った相談・支援の実績は以下の通り。  
 刑事施設等からの釈放者等の相談件数 133人  
 （相談依頼元）保護観察所、刑務所、更生保護施設、弁護士、福祉事務所、病院、不動産業者等のほか本人が直接来所  
 （住居確保支援件数）115人（実際に住居を確保した方の数）  
 服役中の方への面談6人（8回）、勾留中の方への面談18人（32回）、服役中の方との手紙のやり取り7人  
 刑事裁判での情状証人として出廷12件、意見書提出8件  
 自宅訪問の実績10人（86回）

今後は、保護観察所や更生保護施設、弁護士会、地域生活定着支援センターなど関係機関との協力、連携を強化するとともに、理解のある不動産業者との連携の拡大を図っていく計画である。

また、国が決定した再犯防止推進計画の実効性のある実施のために、NGO/NPOとして地道な取り組みを行っていく。

<収支決算書>

(収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動 NPO 事業助成金	500,000
自己資金	598,430
合 計	1,098,430

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち助成対 象金額 (円)
直 接 経 費	交通費	3,010	3,010
	人件費	1,071,558	473,128
	通信費	4,458	4,458
	その他(燃料費、事務用品費)	4,146	4,146
	小 計	1,083,172	484,742
間接経費 (一般管理費)		15,258	15,258
合 計		1,098,430	500,000